

平成 29 年度 秋期  
情報セキュリティマネジメント試験  
午前 問題

試験時間

9:30 ~ 11:00 (1 時間 30 分)

## 注意事項

- 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
- 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
- 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問 1 ~ 問 50
選択方法	全問必須

- 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
  - 答案用紙は光学式読み取り装置で読み取った上で採点しますので、B 又は HB の黒鉛筆で答案用紙のマークの記入方法のとおりマークしてください。マークの濃度がうすいなど、マークの記入方法のとおり正しくマークされていない場合は、読み取れません。特にシャープペンシルを使用する際には、マークの濃度に十分ご注意ください。訂正の場合は、あとが残らないように消しゴムできれいに消し、消しきずを残さないでください。
  - 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入及びマークしてください。答案用紙のマークの記入方法のとおり記入及びマークされていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入及びマークしてください。
  - 解答は、次の例題にならって、解答欄に一つだけマークしてください。答案用紙のマークの記入方法のとおりマークされていない場合は、採点されません。

[例題] 秋の情報処理技術者試験が実施される月はどれか。

ア 8 イ 9 ウ 10 エ 11

正しい答えは“ウ 10”ですから、次のようにマークしてください。

例題	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> エ
----	-------------------------	-------------------------	----------------------------------	-------------------------

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。  
こちら側から裏返して、必ず読んでください。



問1 経済産業省とIPAが策定した“サイバーセキュリティ経営ガイドライン(Ver1.1)”に従った経営者の対応はどれか。

- ア 緊急時における最高情報セキュリティ責任者(CISO)の独断専行を防ぐために、経営者レベルの権限をもたない者をCISOに任命する。
- イ サイバー攻撃が模倣されることを防ぐために、自社に対して行われた攻撃についての情報を外部に一切提供しないよう命じる。
- ウ サイバーセキュリティ人材を確保するために、適切な処遇の維持、改善や適切な予算の確保を指示する。
- エ ビジネスパートナとの契約に当たり、ビジネスパートナに対して自社が監査を実施することやビジネスパートナのサイバーセキュリティ対策状況を自社が把握することを禁止する。

問2 組織がJIS Q 27001:2014（情報セキュリティマネジメントシステム－要求事項）への適合を宣言するとき、要求事項及び管理策の適用要否の考え方として、適切なものはどれか。

	規格本文の箇条4～10に規定された要求事項	附属書A“管理目的及び管理策”に規定された管理策
ア	全て適用が必要である。	全て適用が必要である。
イ	全て適用が必要である。	妥当な理由があれば適用除外できる。
ウ	妥当な理由があれば適用除外できる。	全て適用が必要である。
エ	妥当な理由があれば適用除外できる。	妥当な理由があれば適用除外できる。

問3 JPCERT/CC “CSIRT ガイド（2015 年 11 月 26 日）”では、CSIRT を活動とサービス対象によって六つに分類しており、その一つにコーディネーションセンターがある。コーディネーションセンターの活動とサービス対象の組合せとして、適切なものはどれか。

	活動	サービス対象
ア	インシデント対応の中で、CSIRT 間の情報連携、調整を行う。	他の CSIRT
イ	インシデントの傾向分析やマルウェアの解析、攻撃の痕跡の分析を行い、必要に応じて注意を喚起する。	関係組織、国又は地域
ウ	自社製品の脆弱性 <small>ぜい</small> に対応し、パッチ作成や注意喚起を行う。	自社製品の利用者
エ	組織内 CSIRT の機能の一部又は全部をサービスプロバイダとして、有償で請け負う。	顧客

問4 CRYPTREC の役割として、適切なものはどれか。

- ア 外国為替及び外国貿易法で規制されている暗号装置の輸出許可申請を審査、承認する。
- イ 政府調達において IT 関連製品のセキュリティ機能の適切性を評価、認証する。
- ウ 電子政府での利用を推奨する暗号技術の安全性を評価、監視する。
- エ 民間企業のサーバに対するセキュリティ攻撃を監視、検知する。

問5 a～dのうち、リスクアセスメントプロセスのリスク特定において特定する対象だけを全て挙げたものはどれか。

[特定する対象]

- a リスク対応に掛かる費用
- b リスクによって引き起こされる事象
- c リスクによって引き起こされる事象の原因及び起こり得る結果
- d リスクを顕在化させる可能性をもつリスク源

ア a, b, d

イ a, d

ウ b, c

エ b, c, d

問6 リスク対応のうち、リスクファイナンシングに該当するものはどれか。

- ア システム被害につながるリスクの発生を抑える対策に資金を投入する。
- イ リスクが大きいと評価されたシステムを廃止し、新たなセキュアなシステムの構築に資金を投入する。
- ウ リスクが顕在化した場合のシステム被害を小さくする設備に資金を投入する。
- エ リスクによってシステムが被害を受けた場合を想定して保険を掛ける。

問7 JIS Q 27001:2014（情報セキュリティマネジメントシステム—要求事項）に従ったリスク評価において、情報セキュリティリスクが受容可能か否かの意思決定を行う際に、リスク分析結果と比較するものはどれか。

- ア 組織の情報セキュリティインシデントシナリオ
- イ 組織の情報セキュリティのインシデント対応フロー
- ウ 組織の情報セキュリティのリスク基準
- エ 組織の情報セキュリティリスク対応計画

問8 JIS Q 27000:2014（情報セキュリティマネジメントシステム用語）では、リスクを運用管理することについて、アカウンタビリティ及び権限をもつ人又は主体を何と呼んでいるか。

ア 監査員

イ トップマネジメント

ウ 利害関係者

エ リスク所有者

問9 情報セキュリティマネジメントにおける、脅威と脆弱性に関する記述のうち、最も適切なものはど�か。

ア 管理策の欠如によって脅威が高まり、脆弱性の深刻度が低くなる。

イ 脅威が存在しないと判断できる場合、脆弱性に対処する必要性は低い。

ウ 脅威のうち、脆弱性によってリスクが顕在化するのは環境的脅威である。

エ 脆弱性の有無にかかわらず、事故の発生確率は脅威の大きさで決まる。

問10 JIS Q 27000:2014（情報セキュリティマネジメントシステム用語）において、不適合が発生した場合にその原因を除去し、再発を防止するためのものとして定義されているものはど�か。

ア 繼続的改善

イ 修正

ウ 是正処置

エ リスクアセスメント

問11 JIS Q 27000:2014（情報セキュリティマネジメントシステム－用語）において定義されている情報セキュリティの特性に関する記述のうち、否認防止の特性に関する記述はどれか。

- ア ある利用者があるシステムを利用したという事実が証明可能である。
- イ 認可された利用者が要求したときにアクセスが可能である。
- ウ 認可された利用者に対してだけ、情報を使用させる又は開示する。
- エ 利用者の行動と意図した結果とが一貫性をもつ。

問12 JIS Q 27002:2014（情報セキュリティ管理策の実践のための規範）の“サポートユーティリティ”に関する例示に基づいて、サポートユーティリティと判断されるものはどれか。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ア サーバ室の空調   | イ サーバの保守契約  |
| ウ 特権管理プログラム | エ ネットワーク管理者 |

問13 情報システムにおいて、秘密情報を判別し、秘密情報の漏えいにつながる操作に対して警告を発令したり、その操作を自動的に無効化させたりするものはどれか。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ア DLP | イ DMZ | ウ IDS | エ IPS |
|-------|-------|-------|-------|

問14 SIEM (Security Information and Event Management) の機能はどれか。

- ア 隔離された仮想環境でファイルを実行して、C&C サーバへの通信などの振る舞いを監視する。
- イ 様々な機器から集められたログを総合的に分析し、管理者による分析を支援する。
- ウ ネットワーク上の様々な通信機器を集中的に制御し、ネットワーク構成やセキュリティ設定などを動的に変更する。
- エ パケットのヘッダ情報の検査だけではなく、通信が行われるアプリケーションを識別して、通信の制御を行う。

問15 入室時と退室時に ID カードを用いて認証を行い、入退室を管理する。このとき、入室時の認証に用いられなかった ID カードでの退室を許可しない、又は退室時の認証に用いられなかった ID カードでの再入室を許可しないコントロールを行う仕組みはどれか。

- ア TPMOR (Two Person Minimum Occupancy Rule)
- イ アンチパスバック
- ウ インターロックゲート
- エ パニックオープン

問16 シャドーITに該当するものはどれか。

- ア IT 製品や IT を活用して地球環境への負荷を低減する取組み
- イ IT 部門の公式な許可を得ずに、従業員又は部門が業務に利用しているデバイスやクラウドサービス
- ウ 攻撃対象者のディスプレイやキータイプを物陰から盗み見て、情報を盗み出すこと
- エ ネットワーク上のコンピュータに侵入する準備として、攻撃対象の弱点を探るために個人や組織などの情報を収集すること

問17 ステガノグラフィはどれか。

- ア 画像などのデータの中に、秘密にしたい情報を他者に気付かれることなく埋め込む。
- イ 検索エンジンの巡回ロボットに Web ページの閲覧者とは異なる内容を送信し、該当 Web ページの検索順位が上位に来るよう検索エンジンを最適化する。
- ウ 検査対象の製品に、JPEG 画像などの問題を引き起こしそうなテストデータを送信し読み込ませて、製品の応答や挙動から脆弱性を検出する。
- エ コンピュータに認識できないほどゆがんだ文字が埋め込まれた画像を送信して表示し、利用者に文字を認識させて入力させることによって、人が介在したことを見認する。

問18 パスワードを用いて利用者を認証する方法のうち、適切なものはどれか。

- ア パスワードに対応する利用者 ID のハッシュ値を登録しておき、認証時に入力されたパスワードをハッシュ関数で変換して比較する。
- イ パスワードに対応する利用者 ID のハッシュ値を登録しておき、認証時に入力された利用者 ID をハッシュ関数で変換して比較する。
- ウ パスワードをハッシュ値に変換して登録しておき、認証時に入力されたパスワードをハッシュ関数で変換して比較する。
- エ パスワードをハッシュ値に変換して登録しておき、認証時に入力された利用者 ID をハッシュ関数で変換して比較する。

問19 参加者が毎回変わる 100 名程度の公開セミナにおいて、参加者に対して無線 LAN 接続環境を提供する。参加者の端末以外からのアクセスポイントへの接続を防止するため効果がある情報セキュリティ対策はどれか。

- ア アクセスポイントがもつ DHCP サーバ機能において、参加者の端末に対して動的に割り当てる IP アドレスの範囲をセミナごとに変更する。
- イ アクセスポイントがもつ URL フィルタリング機能において、参加者の端末に対する条件をセミナごとに変更する。
- ウ アクセスポイントがもつ認証機能において、参加者の端末とアクセスポイントとの間で事前に共有する鍵をセミナごとに変更する。
- エ アクセスポイントがもつプライバシセパレータ機能において、参加者の端末へのアクセス制限をセミナごとに変更する。

問20 WAF の説明として、適切なものはどれか。

- ア DMZ に設置されている Web サーバへの侵入を外部から実際に試みる。
- イ TLS による暗号化と復号の処理を Web サーバではなく専用のハードウェアで行うことによって、Web サーバの CPU 負荷を軽減するために導入する。
- ウ システム管理者が質問に答える形式で、自組織の情報セキュリティ対策のレベルを診断する。
- エ 特徴的なパターンが含まれるなど Web アプリケーションへの通信内容を検査して、不正な通信を遮断する。

問21 ポットネットにおいて C&C サーバが果たす役割はどれか。

- ア 遠隔操作が可能なマルウェアに、情報収集及び攻撃活動を指示する。
- イ 電子商取引事業者などに、偽のデジタル証明書の発行を命令する。
- ウ 不正な Web コンテンツのテキスト、画像及びレイアウト情報を一元的に管理する。
- エ 踏み台となる複数のサーバからの通信を制御し遮断する。

問22 DNS キャッシュポイズニングに分類される攻撃内容はどれか。

- ア DNS サーバのソフトウェアのバージョン情報を入手して、DNS サーバのセキュリティホールを特定する。
- イ PC が参照する DNS サーバに偽のドメイン情報を注入して、利用者を偽装されたサーバに誘導する。
- ウ 攻撃対象のサービスを妨害するために、攻撃者が DNS サーバを踏み台に利用して再帰的な問合せを大量に行う。
- エ 内部情報を入手するために、DNS サーバが保存するゾーン情報をまとめて転送させる。

問23 非常に大きな数の素因数分解が困難なことを利用した公開鍵暗号方式はどれか。

ア AES

イ DH

ウ DSA

エ RSA

問24 デジタル署名における署名鍵の使い方と、デジタル署名を行う目的のうち、適切なものはどれか。

ア 受信者が署名鍵を使って、暗号文を元のメッセージに戻すことができるようになる。

イ 送信者が固定文字列を付加したメッセージを署名鍵を使って暗号化することによって、受信者がメッセージの改ざん部位を特定できるようにする。

ウ 送信者が署名鍵を使って署名を作成し、その署名をメッセージに付加することによって、受信者が送信者を確認できるようにする。

エ 送信者が署名鍵を使ってメッセージを暗号化することによって、メッセージの内容を関係者以外に分からないようにする。

問25 データベースのアカウントの種類とそれに付与する権限の組合せのうち、情報セキュリティ上、適切なものはどれか。

アカウントの種類	レコードの更新権限	テーブルの作成・削除権限
ア データ構造の定義用アカウント	有	無
イ データ構造の定義用アカウント	無	有
ウ データの入力・更新用アカウント	有	有
エ データの入力・更新用アカウント	無	有

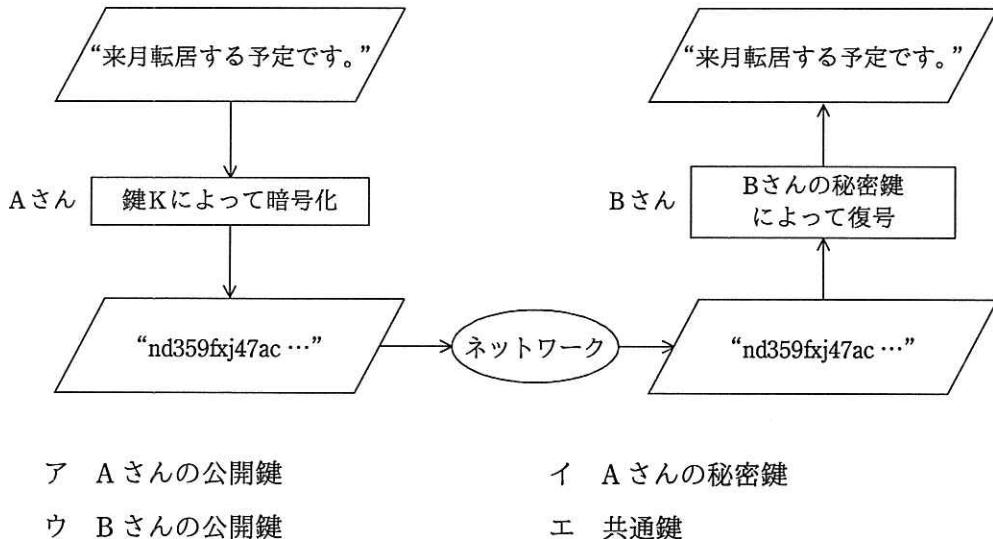
問26 ルート認証局についての記述はどれか。

- ア UNIX 系の OS において、root アカウントの権限レベルでプログラムを実行するために利用者が使用する。
- イ 上位の認証局が発行した証明書によって、自らの認証局としての正当性を示す。
- ウ 信頼される第三者機関として、認証局運用規程を公開している。
- エ ハッカーが侵入の痕跡を隠蔽して、コンピュータやネットワークに対する管理者レベルのアクセス権限を得るために使用される。

問27 マルウェアについて、トロイの木馬とワームを比較したとき、ワームの特徴は何か。

- ア 勝手にファイルを暗号化して正常に読めなくする。
- イ 単独のプログラムとして不正な動作を行う。
- ウ 特定の条件になるまで活動をせずに待機する。
- エ ネットワークやリムーバブルメディアを媒介として自ら感染を広げる。

問28 公開鍵暗号方式を用いて、図のように A さんから B さんへ、他人に秘密にしておきたい文章を送るとき、暗号化に用いる鍵 K として、適切なものはどれか。



問29 HTTP over TLS (HTTPS) を用いて実現できるものはどれか。

- ア Web サーバ上のファイルの改ざん検知
- イ Web ブラウザが動作する PC 上のマルウェア検査
- ウ Web ブラウザが動作する PC に対する侵入検知
- エ ディジタル証明書によるサーバ認証

問30 ファジングの説明はどれか。

- ア 社内ネットワークへの接続を要求する PC に対して、マルウェア感染の有無を検査し、セキュリティ要件を満たす PC だけに接続を許可する。
- イ ソースコードの構文を機械的にチェックし、特定のパターンとマッチングさせることによって、ソフトウェアの脆弱性を自動的に検出する。
- ウ ソースコードを閲読しながら、チェックリストに従いソフトウェアの脆弱性を検出する。
- エ 問題を引き起こしそうな多様なデータを自動生成し、ソフトウェアに入力したときのソフトウェアの応答や挙動から脆弱性を検出する。

問31 個人情報保護法が保護の対象としている個人情報に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア 企業が管理している顧客に関する情報に限られる。
- イ 個人が秘密にしているプライバシに関する情報に限られる。
- ウ 生存している個人に関する情報に限られる。
- エ 日本国籍を有する個人に関する情報に限られる。

問32 企業が、“特定電子メールの送信の適正化等に関する法律”における特定電子メールに該当する広告宣伝メールを送信する場合についての記述のうち、適切なものはどれか。

- ア SMS で送信する場合はオプトアウト方式を利用する。
- イ オプトイン方式、オプトアウト方式のいずれかを選択する。
- ウ 原則としてオプトアウト方式を利用する。
- エ 原則としてオプトイン方式を利用する。

問33 著作権法において、保護の対象となり得ないものはどれか。

- ア インターネットで公開されたフリーソフトウェア
- イ ソフトウェアの操作マニュアル
- ウ データベース
- エ プログラム言語や規約

問34 不正の利益を得る目的で、他社の商標名と類似したドメイン名を登録するなどの行為を規制する法律はどれか。

- ア 独占禁止法
- イ 特定商取引法
- ウ 不正アクセス禁止法
- エ 不正競争防止法

問35 インストール台数を条件とするソフトウェアライセンスに基づき、法人で PC 100 台分のソフトウェア X のライセンスを購入し、ライセンス分のインストールを実施した。その後の対応で使用許諾契約を遵守しているものはどれか。

- ア PC 10 台を他部署へ移動させたが、ディスク内のソフトウェア X は消去せず、移動先でそのまま使用した。
- イ 新規に PC 10 台を購入し、ソフトウェア X をインストールしたが、ライセンスの追加購入はしなかった。
- ウ ソフトウェア X が販売停止となったので、ライセンス使用状況の管理を中止し、自由にインストールできるようにした。
- エ ソフトウェア X を、PC 100 台を超えてインストールしたが、同時に利用している PC を 100 台以下にした。

問36 大規模なシステム開発を受注した A 社では、不足する開発要員を派遣事業者である B 社からの労働者派遣によって補うことにした。A 社の行為のうち、労働者派遣法に照らして適切なものはどれか。

- ア システム開発が長期間となることが予想されるので、開発要員の派遣期間を 3 年とする契約を結ぶ。
- イ 派遣候補者の履歴書及び業務経歴書の提出を B 社に求め、書類選考を行い、面接対象者を絞り込む。
- ウ 派遣された要員が大きな作業負担を負うことが見込まれるので、B 社に 20 代男性の派遣を依頼する。
- エ 派遣労働者が A 社の指揮命令に対して申し立てた苦情に自社で対応せず、その処理を B 社に任せる。

問37 利用部門がスプレッドシートを利用した際に、財務データの正確性を損なう誤謬<sup>びゆう</sup>が発生した場合において、当該部門がこれを発見するために有効な統制はどれか。

- ア 更新する必要のないスプレッドシートは、閲覧用としてロックを掛ける手続
- イ スpreadsheet に入力したデータと入力原票の照合作業を行う手続
- ウ スpreadsheet の変更申請書に対して、申請者の上長が事前に承認する手続
- エ スpreadsheet を定期的にバックアップする手続

問38 入出金管理システムから出力された入金データファイルを、売掛金管理システムが読み込んでマスタファイルを更新する。入出金管理システムから売掛金管理システムへ受け渡されたデータの正確性及び網羅性を確保するコントロールはどれか。

- ア 売掛金管理システムにおける入力データと出力結果とのランツーランコントロール
- イ 売掛金管理システムのマスタファイル更新におけるタイムスタンプ機能
- ウ 入金額及び入金データ件数のコントロールトータルのチェック
- エ 入出金管理システムへの入力のエディットバリデーションチェック

問39 システム監査基準（平成16年）における、組織体がシステム監査を実施する目的はどれか。

- ア 自社の強み・弱み、自社を取り巻く機会・脅威を整理し、新たな経営戦略・事業分野を設定する。
- イ システム運用部門によるテストによって、社内ネットワーク環境の脆弱性を知り、ネットワーク環境を整備する。
- ウ 情報システムにまつわるリスクに対するコントロールの整備・運用状況を評価し、改善につなげることによって、ITガバナンスの実現に寄与する。
- エ ソフトウェア開発の生産性のレベルを客観的に知り、開発組織の能力を向上させるために、より高い生産性レベルを目指して取り組む。

問40 監査調書の説明はどれか。

- ア 監査人が行った監査手続の実施記録であり、監査意見の根拠となる。
- イ 監査人が監査の実施に当たり被監査部門に対して提出する、情報セキュリティに関する誓約書をまとめたものである。
- ウ 監査人が監査の実施に利用した基準書、ガイドラインをまとめたものである。
- エ 監査人が正当な注意義務を払ったことを証明するために、監査報告書とともに公表するよう義務付けられたものである。

問41 サービスマネジメントシステムに PDCA 方法論を適用するとき、Act に該当するものはどれか。

- ア サービスの設計、移行、提供及び改善のためにサービスマネジメントシステムを導入し、運用する。
- イ サービスマネジメントシステム及びサービスのパフォーマンスを継続的に改善するための処置を実施する。
- ウ サービスマネジメントシステムを確立し、文書化し、合意する。
- エ 方針、目的、計画及びサービスの要求事項について、サービスマネジメントシステム及びサービスを監視、測定及びレビューし、それらの結果を報告する。

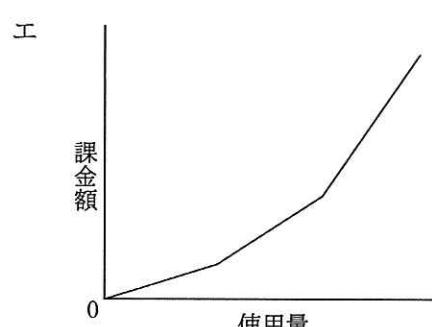
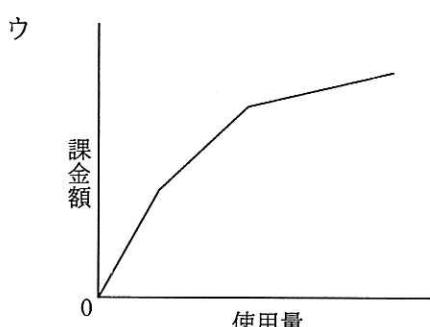
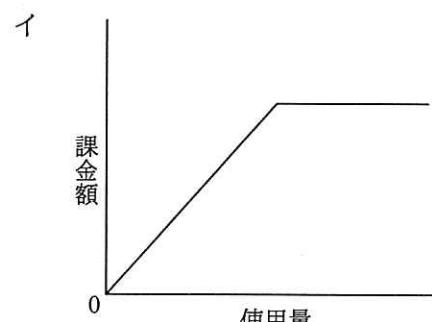
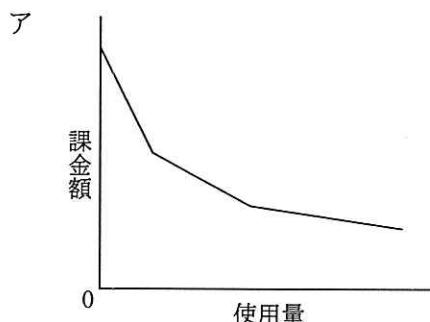
問42 サービス提供者と顧客との間で、新サービスの可用性に関するサービスレベルの目標を定めたい。次に示すサービスの条件で合意するとき、このサービスの稼働率の目標値はどれか。ここで、1週間のうち5日間を営業日とし、保守のための計画停止はサービス提供時間帯には行わないものとする。

[サービスの条件]

サービス提供時間帯	営業日の9時から19時まで
1週間当たりのサービス停止の許容限度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回以下</li> <li>・合計1時間以内</li> </ul>

ア 96.0%以上 イ 97.8%以上 ウ 98.0%以上 エ 99.8%以上

問43 ITサービスにおけるコンピュータシステムの利用に対する課金を遞減課金方式で行うときのグラフはどれか。ここで、グラフの縦軸は累計の課金額を示す。



問44 工程管理図表に関する記述のうち、ガントチャートの特徴はどれか。

- ア 工程管理上の重要ポイントを期日として示しておき、意思決定しなければならない期日が管理できる。
- イ 個々の作業の順序関係、所要日数、余裕日数などが把握できる。
- ウ 作業開始と作業終了の予定と実績や、仕掛け中の作業などが把握できる。
- エ 作業の出来高の時間的な推移を表現するのに適しており、費用管理と進捗管理が同時に見える。

問45 システムの信頼性指標に関する記述として、適切なものはどれか。

- ア MTBF は、システムの稼働率を示している。
- イ MTBF を MTTR で割ると、システムの稼働時間の平均値を示している。
- ウ MTTR の逆数は、システムの故障発生率を示している。
- エ MTTR は、システムの修復に費やす平均時間を示している。

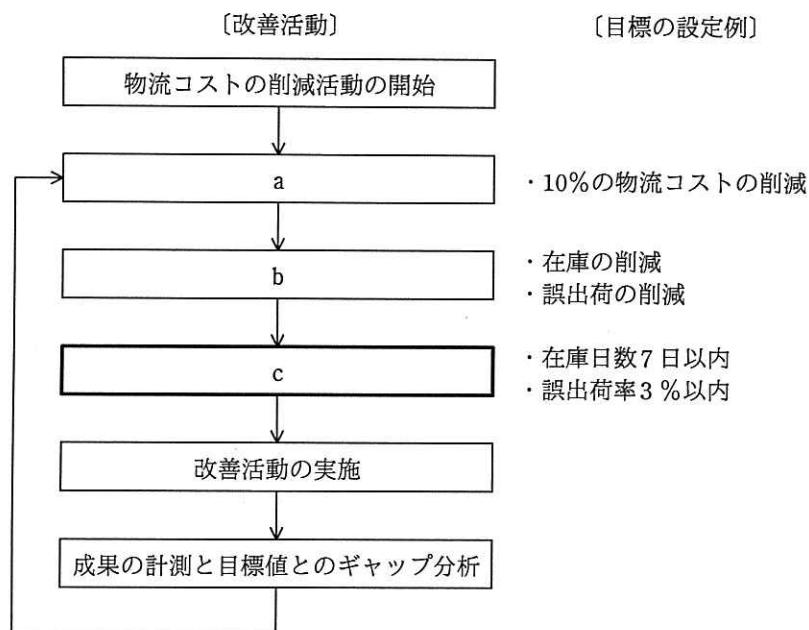
問46 コンピュータの能力の向上によって、限られたデータ量を分析する時代から、Volume（量）、Variety（多様性）、Velocity（速度）の三つの V の特徴をもつビッグデータを分析する時代となった。この時代の変化によって生じたデータ処理の変化について記述しているものはどれか。

- ア コストとスピードを犠牲にしても、原因と結果の関係に力を注ぐようになった。
- イ ビッグデータ中から対象データを無作為抽出することによって予測精度を高めるようになった。
- ウ 分析対象のデータの精度を高めるクレンジングに力を注ぐようになった。
- エ 膨大なデータを処理することで、パターンを発見することに力を注ぐようになった。

問47 IPv4において、インターネット接続用ルータのNAT機能の説明として、適切なものはどれか。

- ア インターネットへのアクセスをキャッシュしておくことによって、その後に同じIPアドレスのWebサイトへアクセスする場合、表示を高速化できる機能である。
- イ 通信中のIPパケットを検査して、インターネットからの攻撃や侵入を検知する機能である。
- ウ 特定の端末宛てのIPパケットだけを通過させる機能である。
- エ プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを相互に変換する機能である。

問48 物流業務において、10%の物流コストの削減の目標を立てて、図のような業務プロセスの改善活動を実施している。図中のcに相当する活動はどれか。



- ア CSF (Critical Success Factor) の抽出
- イ KGI (Key Goal Indicator) の設定
- ウ KPI (Key Performance Indicator) の設定
- エ MBO (Management by Objectives) の導入

問49 共通フレーム2013によれば、企画プロセスで実施することはどれか。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ア 運用テスト     | イ システム化計画の立案 |
| ウ システム要件の定義 | エ 利害関係者の識別   |

問50 CIO が果たすべき主要な役割はどれか。

- ア 情報化戦略を立案するに当たって、経営戦略を支援するために、企業全体の情報資源への投資効果を最適化するプランを策定する。
- イ 情報システム開発・運用に関する状況を把握して、全社情報システムが最適に機能するように具体的に改善点を指示する。
- ウ 情報システムが企業活動に対して健全に機能しているかどうかを監査することによって、情報システム部門にアドバイスを与える。
- エ 全社情報システムの最適な運営が行えるように、情報システムに関する問合せやトラブルに関する報告を受け、担当部門に具体的指示を与える。

[ メモ用紙 ]

[ × 用 紙 ]

[ メモ用紙 ]

6. 退室可能時間に途中で退室する場合には、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	10:30 ~ 10:50
--------	---------------

7. **問題に関する質問にはお答えできません。**文意どおり解釈してください。

8. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。ただし、問題冊子を切り離して利用することはできません。

9. 試験時間中、机上に置けるものは、次のものに限ります。

なお、会場での貸出しは行っていません。

受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB）、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

これら以外は机上に置けません。使用もできません。

10. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。

11. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。

12. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

13. 午後の試験開始は **12:30** ですので、**12:10** までに着席してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。

なお、試験問題では、<sup>TM</sup> 及び <sup>®</sup> を明記していません。